

第6回P I 委員会傍聴者アンケート及びインターネット中継結果

1 会議概要

日 時：平成24年9月9日（日）13：00～15：00

場 所：静岡県東部総合庁舎 別棟2階 会議室

出席委員：石田委員長、寺部委員、高井委員、松浦委員

傍聴人数：12人（7人提出）

2 アンケート結果

①オープンハウス・車座談議について

- 団体や企業の意見は聴取されているが、一般市民の意見はオープンハウスのみである。東海道線沿線の自治会等も意見聴取したほうが良い。
- 車座談議に参加しましたが、メディアの取材は規制して欲しくない。

②勉強会について

- 一刻も早い勉強会のスタートを望む。
- 勉強会が6月より開始されることになってたが、実施されていない。推進派と見直し派の合意形成を図る上では双方が出席し、議論することが極めて大事だと思う。
- 早急に勉強会が開催できるように働きかけをお願いする。
- 「高架が必要か」「高架で沼津市民のメリットはあるのか」等議論されないとP Iは意味のないものになってしまう。
- 勉強会が開催できないのは、推進派の人達が出席を拒んでいると聞いている。お互いの意見を出し合い、折り合う点を見出すことが必要だと思う。
- 石田委員長がおっしゃった意見交換会に賛成。（勉強会が開催不能な場合）
- 座長が提案された公開討論会を計画して欲しい。

⑦その他

- 反対派がほんの一部（一握り）であることをわかってもらいたい。その証拠に今迄の市会議員、県会議員の選挙で票がほとんどとれていない。
- 反対派の中には市外の人混ざっている。このような人達のために発展すべき事業がほとんどできてこなかったのが、沼津市を衰退してしまった原因である。
- 沼津市の10年～20年先のことを考え、一部の反対のために沼津市が疲弊することないようにしたい。
- 無関心層、あきらめ層が多いので意見が寄せられない。P I委員会の目的がわかっていないのではないか。
- （P Iプロジェクトの）さらに早いスピードUPを望む。
- 市の担当者にも意見を聞いて欲しい。
- 10年以上、市が推進活動をし、市民もあきがきている方もいるので意見がない。
- 県知事も高架化は推進するとしているので、「予断なく」の位置づけがわからない。（広域にしすぎて、論点がわからない）

3 インターネット中継結果

- アクセス台数 パソコン53台
- 延べ視聴時間 21.94時間